

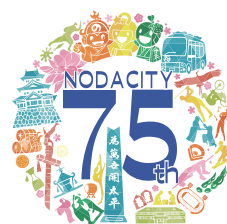
未 来 構 想

水道ビジョン野田（経営戦略）

～未来を拓く くらしを支える水～

令和 7 年度～令和 16 年度

野田市水道部



は じ め に

本市の水道は、江戸川の恵みを受け昭和50年に給水を開始して以来、市勢の発展とともに公衆衛生の向上や生活基盤の改善等に伴って増加する水需要に応えるため、水道の運営基盤強化、安定した給水の確保、災害時での対策等に取り組み市民生活や経済活動を支える社会基盤として市民の皆様が水道水を安心して利用できる環境を整えてまいりました。

しかしながら、企業・家庭における節水型機器の普及や生活スタイルの変化等により水需要の減少が進み、さらには人口の減少も見込まれる中、一方では老朽化に伴う施設・管路等の更新需要の増加速度の高まっていることから、令和2年2月に「未来構想 水道ビジョン野田(経営戦略)」を策定し、「安全・強靱・持続」目標に各種事業に取り組んでまいりました。

策定後5年を経る中で、気候変動の顕在化、大規模災害の頻出を始めとする不連続変化へのリスク対応、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻、国の経済対策等による生活様式や物価、賃金水準の大きな変動、さらに令和6年の元日に発生した能登半島地震ではその後の大規模断水が長期間継続するなど、水道事業を取り巻く環境は更に大きく変化し、新たな課題への対応が求められています。

このような課題に対し適切に対処し、健全な水道事業運営を持続していくことにより、引き続き将来にわたり市民の皆様へ安全で安心な水道水を安定的に供給するために、「未来構想 水道ビジョン野田(経営戦略)」を、令和7年度から令和16年度までを計画期間とする新たな計画として見直しを行いました。

市民の皆様の重要なライフラインである水道事業を将来にわたって安定的に持続させるため、本計画に基づく各種施策の着実な推進に努めるとともに、お客様ニーズに対応した質の高いサービスを提供できるよう職員一丸となって全力で取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年3月
野田市水道事業管理者
中 沢 哲 夫

目 次

第 1 章 策定に当たって	1
1. 1 策定の趣旨	1
1. 2 位置付け	2
1. 3 計画期間	3
第 2 章 水道事業の歩み	4
2. 1 水道事業の沿革	4
2. 2 水道施設の概要	8
第 3 章 水道事業の現状	10
3. 1 事業概要	10
3. 2 水需要の状況	12
3. 3 水源の利用状況	14
3. 4 水質管理の状況	15
3. 5 災害対策の状況	16
3. 6 耐震化の状況	20
3. 7 事業の運営状況	22
3. 8 経営健全化の取組	34
第 4 章 未来へ向けての課題	36
4. 1 水道事業を取り巻く環境	36
4. 2 野田市水道事業における課題	40
第 5 章 野田市水道の目指す将来像	47
5. 1 将来像	47
5. 2 基本目標	48
5. 3 SDG s への取組	49
5. 4 施策体系図	50
第 6 章 基本目標実現のための主要施策	51
6. 1 いつでも水をおいしく飲める【安全】な水道	53
(1) 水質管理体制の強化	54
(2) 適切な水源保全の推進	66
(3) 安全対策の強化	69
(4) 小規模貯水槽水道の適正管理と直結給水方式の普及	70

6. 2 健全かつ安定的な事業運営及び水道サービスの【持続】可能な水道 …	73
（1）経営基盤の強化と業務の効率化 ……	75
（2）安定水源の確保 ……	86
（3）水道施設の最適化 ……	88
（4）お客様サービスの充実 ……	91
（5）お客様の利便性向上 ……	97
（6）人材育成と技術力の強化 ……	99
（7）環境に配慮した事業運営 ……	101
6. 3 災害に強く不測の事態にしなやかに対応できる【強靱】な水道 …	104
（1）水道施設の計画的な整備 ……	105
（2）基幹施設の耐震化 ……	110
（3）災害対策 ……	111
（4）渇水対策の推進 ……	119
第 7 章 経営戦略	120
7. 1 策定に当たって ……	120
7. 2 経営状況等の把握と課題の整理 ……	121
7. 3 給水量予測と料金収入の見通し ……	131
7. 4 経営の基本方針 ……	138
7. 5 投資・財政計画（収支計画）の見直し ……	140
第 8 章 進捗管理	156
付属資料	157
用語解説 ……	159

